

基幹工学部

【基幹工学部の概要】

日本の産業を支えてきた、機械加工技術と電気制御技術、そして材料を開発する化学技術。私たちの便利な生活のベースとなる自動車や家電、情報機器といった機器を作っているのは今も昔も機械・電気・化学分野のエンジニアたちです。

基幹工学部では、これらの産業界の基盤となる機械、電気、化学の分野で求められる基礎的知識や技術を習得し、既存の技術を生かして新たな価値を創造する実践的能力を身につけた技術者を養成することを目指しています。

技術革新の必要性が増す時代に、実践的なエンジニアを求める社会の需要は増しています。皆さんは、自発的、自律的に学ぶ力を身につけ、専門分野で必要となる基礎的知識を定着し、実験・実習科目で理論と実践を擦り合わせて論理的に考える習慣を養ってください。本学での教育・研究を通じ、機械・電気・化学に関わる基盤技術を深化させ、新しい価値を創造する「ものづくりの匠となる技術者」となることを期待しています。

基幹工学部は、機械工学科、電気電子通信工学科、応用化学科による3学科で構成されます。

機械工学科は、機械工学関連の実務的能力に優れ、広い視野を有し、他者と協働できる技術者を養成します。

電気電子通信工学科は、電気工学、電子工学、情報工学、通信工学に対応し、現場のリーダーになることができる技術者を養成します。

応用化学科は化学を基盤とした自然科学・工学に関する豊富な知識と経験を備え、産業や技術の変化を敏感に察知できる広い視野と迅速に対応できる柔軟な適応能力を有する技術者を養成します。

ディプロマポリシー

基幹工学部は、産業界の基幹となる機械、電気、化学の分野で求められる「基礎的な知識や技術を修得し、既存の技術を発展させて新たな価値を創造する実践的能力を身につけた技術者」を育成します。所定の卒業要件を満たすことで、基幹工学に関する知識・技能及び次のような能力と素質を備えたものと認め、学士（工学）を授与します。

【基幹工学部が身につけるべき知識・能力】

【専門的知識・技能】

- (1) 基幹工学の領域（機械・電気電子通信・応用化学）の基盤を支え、基盤技術を深化させることができる
- (2) 基幹工学の領域（機械・電気電子通信・応用化学）において、新しい価値を創造することができる
- (3) 常に進化し発展を続ける技術に生涯にわたって対応できる

【実践的技術力】

- (1) 基幹工学の領域（機械・電気電子通信・応用化学）において、体得した知と技を生かし、現場で課題解決および発展的な提案ができる

【豊かな人間性と社会性】

- (1) 自発的、自律的に学ぶ力と理論と実践を擦り合わせて論理的に物事を考えることができる
- (2) 自らの考えを説明し、他者や社会に伝達することができる

カリキュラムポリシー

基幹工学部は、産業界の基幹となる機械、電気、化学の分野で求められる基礎的知識や技術を修得し、既存の技術を発展させ、付加価値の高い技術を創造する実践的能力を身につけた技術者を育成するため、共通教育科目で「工学基礎力」を担保した上で、「機械」、「電気」、「化学」分野の専門科目を実験・実習と同時に学ぶことで、学生が所属する学科のディプロマポリシーに掲げる目標を達成できるようにすることを目的としたカリキュラムを構築します。

アドミッションポリシー

基幹工学部は、産業界の基幹となる機械、電気、化学の分野で求められる基礎的知識や技術を修得し、既存の技術を発展させ、付加価値の高い技術を創造する実践的能力を身につけた技術者を養成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【基幹工学部が求める人物像】

- (1) 産業界の基幹となる機械、電気、化学の分野に強い関心を持ち、それらの分野で求められる基礎的知識や技術を修得する意欲を有している人
- (2) 既存の技術を発展させ、新たな価値を創造しようとする気概を有している人